

新たな科学技術を活用した地震調査研究に関する
専門委員会の活動状況

令和2年9月17日
地震調査研究推進本部政策委員会
新たな科学技術を活用した地震
調査研究に関する専門委員会

これまでの新たな科学技術を活用した地震調査研究に関する専門委員会（以下、「専門委員会」とする。）（主査：北川源四郎・国立大学法人東京大学数理・情報教育研究センター特任教授）の活動状況は以下の通りである。

○新たな科学技術を活用した地震調査研究について

昨年度設けられた本委員会では、これまでの地震調査研究におけるデータ蓄積の状況、第3期総合基本施策、海外の地震調査研究と情報科学等との連携の動向を踏まえつつ、今後の地震調査研究をより一層推進するための新たな科学技術の活用について議論を行ってきたところである。

今後の検討の方向性として、これまで蓄積した観測データから新たな知見等を抽出することに挑戦すること、加えて、地震調査委員会の評価や観測手法などを進化させるために情報科学等を活用することとし、「新たな科学技術を活用した地震調査研究について～データサイエンスを中心として～（中間とりまとめ）」としてとりまとめた（「参考 政60-(1)」を参照）。

表 これまでの専門委員会の開催状況

開催年月日	回	議題
令和 2年 3月24日	第1回	(1) 新たな科学技術を活用した地震調査研究について (2) その他
令和 2年 4月20日	第2回	(1) 新たな科学技術を活用した地震調査研究について (2) その他
令和 2年 6月22日	第3回	(1) 新たな科学技術を活用した地震調査研究について (2) その他
令和 2年 7月30日	第4回	(1) 新たな科学技術を活用した地震調査研究について (2) その他